

基本的な考え方

- ★ 図書館を学習・情報センター、読書センターとして位置づける。
- ★ 学習・情報センターとしての図書館を活用し、主体的に問題を解決する力をもった子どもを育てる。
- ★ 読書指導や読書環境の工夫を図ることにより読書の楽しさを知らせ、本に親しむ子どもを育てる。
- ★ 子どもや地域の実態に即した読書活動を保護者と一体となって進めていく。

めざす子ども像

進んで学ぶ児童 思いやりのある児童 健康でたくましい児童

子どもの実態

- ・ 本が、「とても好き」、「好き」と答える児童が、92.6%いる。
- ・ 家庭で「本を読んでいる」と答えた保護者が、50.0%いる。2月実施(9月 37.0%)
- ・ 個人の目標冊数及びページ数を達成した児童が 86%いる。

具体的指導

判断力の育成

思考力の育成

○「学校図書館を活用した年間指導計画」に基づいた各学年の指導

各教科・領域における指導

学習・情報センター

- 学校図書館を活用した教材や指導方法の工夫・改善
- 「課題解決ができる力」を育てるための系統表に基づいた各学年の指導
- 「学校図書館を活用した年間指導計画」に基づく実践
- 図書館ガイドブックの活用

読書センター

- 推薦図書(「おすすめの本」)の提示と年間読書目標の設定
 - ・低学年【読書 80 冊】
 - ・中・高学年
- 【学年×1000 ページ】
- 「読書通帳」への記録指導
- 読み聞かせ、本の紹介など本を読むきっかけづくりの充実
- 図書委員会活動の充実

君田中学校との連携

- 教職員の価値観の共有化と相互理解
- 9 ヶ年を見通した教育課程の編成
- 児童生徒の交流
- 地域との連携

家庭・地域との連携

- 地域ボランティアによる読み語り朝会の実施(毎月1回 火曜日)
- ノーメディアデーの実施(PTA との連携)
- 親子読書・地域読書の推進(PTA との連携)
- 君田図書館との連携(お話広場の紹介)(学級文庫への貸し出し)

表現化

- 調べたことの表現化
 - ・パンフレット
 - ・新聞
- 読書したことの表現化
 - ・読書感想文(画)
 - ・動く読書感想文(プログラミング学習)
 - ・読書ノート
 - ・おすすめの本の紹介
- 発表の場
 - ・発表朝会
 - ・読書朝会
 - ・読書祭り

読書環境の充実

- 学校図書館のデータベース化の活用
- 図書資料の充実
- 図書館運営の推進(図書委員会の活動と連携して)
- 読書時間の確保
 - ・学級読書(火、木曜日朝会 15 分間)
 - ・給食前
- 君田図書館(ばんびのお話広場・団体貸し出し)・三次市立図書館との連携

表現力の育成